

重点1 毎日の授業の充実

4 企業連携

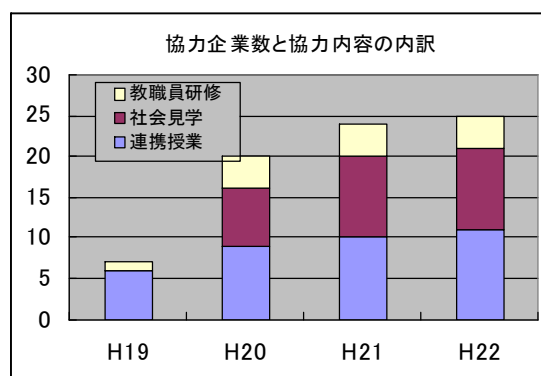
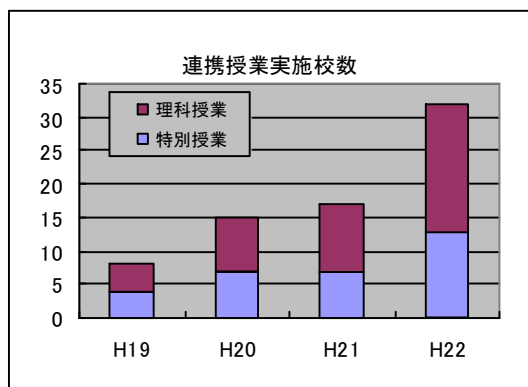
ねらい

本市には、石油コンビナートに関連するたくさんの企業や事業所があります。そこでは、最先端の研究開発を行い、私たちの身の回りにある製品や、思いもよらない素材等が製造されています。こうした企業が持つ知識・技能・経験等を幅広く活用し、理科教育をはじめとする教育活動の充実をめざし、企業との連携を実施しています。

現状と課題

協力企業の紹介や連携授業の内容をホームページにて発信しました。また、平成22年度は、年度初めに加えて9月にも授業実施希望調査をしたことにより、本事業を活用する学校数が増加しました。連携授業の他に社会見学や教職員研修においても各企業の特徴を生かしたプログラムが開発されています。

<企業連携教育の実績 平成22年度>



	小学校		中学校		協力企業
	実施校数	実施率	実施校数	実施率	
出前授業	15校 (19回)	37.5%	8校 (13回)	36.4%	11社
社会見学	8校 (12回)	30.0%			8社
教職員研修	6回 (のべ参加人数 193人)				3社

- ・ 企業独自のプログラムをいかに理科授業として組み立てていくか検討を重ねた結果、企業と教員の連携による学習プランづくりとその授業実践が広がりました。
- ・ キャリア教育や環境教育、食育など企業の持つ幅広い内容を、対象となる学年の発達段階や子どもの実態に合わせていかに効果的に指導していくかを企業と教員で打ち合わせていくことが大切です。

今後の方向性

- 教員と企業人講師との協働による「理科授業」づくりを進めるとともに連携授業の推進を図ります。
- 教育委員会のホームページで、企業連携授業の情報を積極的に提供します。
- 教職員研修講座において、企業人講師による講座を継続して開設します。

主な取組状況

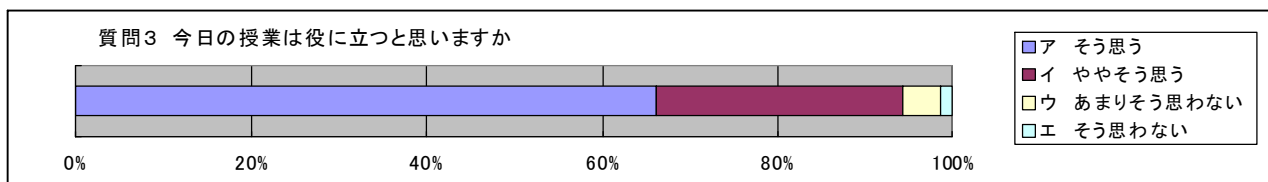
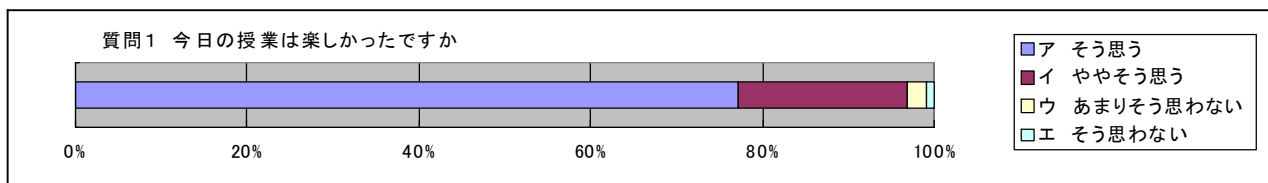
<企業連携授業の様子>

写真は、企業連携による理科授業の様子です。手回し発電機の実験（左側）では、LED が豆電球より少ないエネルギーで光を出すことを実感できました。また、合成ゴムを作る実験（右側）では、企業で働く人たちと同じように、防護フェイスマスクを身につけ、化学変化を目の当たりにしてそのおもしろさを感じ、興味関心を高めることができました。



○ 企業連携授業後の児童生徒アンケート

- 企業人の知識や技能をいかした体験的な学習は、児童生徒の興味関心を引き出し、理科に親しむ態度を育む十分な手だてとなっていることがわかります。



○ 教職員研修講座後のアンケート

- 教職員研修講座においては、理科担当ばかりでなく小中学校教員の幅広い参加があり、参加者の85%以上から「満足できる」との回答がありました。
- 参加希望者が定員を上回るほど企業人講師による研修は魅力的であり、実際にモノに触れたり見学したりする研修を通して得た専門的知識等を、68%以上の教員が今後の授業に生かすことができるとの評価をしています。

